



新寺子屋 講座カリキュラム

講座1: はじめて触れる、能と世阿弥の世界 毎月第三土曜日 13:00~14:30

古典の精緻、日本美の結晶。でも、高尚で難解なもの...と思われてきた能狂言。実は昔、私たちの先祖がとても楽しみにした演劇+コンサートなのです。

簡単なルールを知るだけで、俄然と面白さがわかる。知れば知るほど奥深い世界が広がる、不思議な芸能です。世阿弥と能の歴史、実技や用語のやさしい解説、具体的な舞台鑑賞ポイント等を初心者を目線に立って、一つずつ丁寧にご案内していきます。ビデオ学習あり。10月から始まる6ヶ月講座。

DVD、ビデオなど、能を実感し理解する実践講義。

能の出典である古典名作も読みます。

日本の文化、芸術に興味のあるすべての方に。

- 第一回 10/15: 能の歴史と舞台の秘密。基本知識1
- 第二回 11/19: 能役者と演技・能の物語。基本知識2
- 第三回 12/17: 世阿弥と『風姿花伝』
- 第四回 1/21: 能の実技1。謡・舞・囃子(ビデオ)
- 第五回 2/18: 能の実技2。構成・演能様式・見どころ(ビデオ)
- 第六回 3/17: 能の名曲紹介『隅田川』(ビデオ)

・参考文献・・・受講生が任意で購入するもの
『現代語訳 風姿花伝』PHPエディターズグループ 2005
『能楽ハンドブック』三省堂 2008
各流儀謡本『隅田川』

講座2: 茶道の聖典『南方録』入門 毎月第三土曜日 15:00~16:30

『南方録』は茶道の聖典とよばれる利休関連茶書の中の頂点とされる名著。

利休の高弟南坊宗啓が聞き書きし、利休が奥書・印可を加えたといわれます。当講座では、南方録「覚書」「台子」など全編から、名段落を選んで受講生とともに音読。利休茶の骨法を茶人のエピソード等も交えながら、初級者向けにくわしくやさしく解説していきます。中世茶道史を身近に学ぶ入門講座です。10月から始まる6ヶ月講座。

- 第一回 10/15: 「覚書」侘びと茶の湯
- 第二回 11/19: 「棚」秘伝の紹鷗袋棚
- 第三回 12/17: 「書院」東山文化と茶
- 第四回 1/21: 「台子」利休伝授の切紙集
- 第五回 2/18: 「墨引」幻の茶法“曲尺割り”
- 第六回 3/17: 「滅後」蘇る利休の茶

・参考文献・・・受講生が任意で購入するもの
『南方録』西山松之助校注 1995 岩波文庫
『南方録 現代語全文完訳』水野聡訳 2006 能文社